

Lo-bee^{ca/}

市民活動情報誌“ロビー”

ロビーは、あなたがまだ見ぬ、ヒト・コト・モノとの新たな関係を創ります。

2025.4 第8号



表紙 須山地区の皆さん

1・2ページ 自治探訪

太鼓や笛、^{かね}などの鳴り物を囃して地域の祭りを彩る「須山ばやし保存会」の皆さん。歴史あって今がある。住民有志で伝統を守ることとは…(写真は同保存会^{たむき}田向支部の皆さん。右上は、^{せんげん}浅間神社例大祭雅楽伶人としての皆さん)

3ページ 団体探訪……裾野市手話サークル 虹の会

4ページ 企業探訪……STUDIO O&K 裾野店

5ページ ぼくらの活動ノート…水野^{あいり}愛梨さん、羽畑^{うはたゆい}悠衣さん

6ページ 裾野市市民活動センターへようこそ
読者プレゼント

裏表紙 各区の人口情報など

須山地区

裾野市の最も北西端に位置する。須山1区～須山6区からなり、小・中学校が各1校ある。平成25年6月に世界文化遺産「富士山」の構成資産に指定された富士山須山浅間登山道やその起点である須山浅間神社をはじめとし、標高約1500m富士山2合目にある水ヶ塚公園、富士サファリパークなど、数々の文化財や観光スポットがある。



須山地区で重要な文化財のひとつとなっている屋台

地域の文化を継承する「須山ばやし保存会」

「^{はやし}囃子」の復活

昔からその地域に伝わる行事や風習、習慣などは、人々の暮らしの中に根付き、生活の一部として独特な文化をつくり上げています。時代の移り変わりとともに、担い手不足などの課題もあり、文化を守り続けることは容易ではなくなってきましたが、須山地区では祭祀事で行われる「囃子」を文化として継承しています。50年以上前の昭和48年に「^{たむき}田向はやし保存会」を、翌年の49年には「須山はやし保存会」を発足させました。

当時、10年以上伝承が途絶えていた囃子を、住民有志の熱い思いで復活させ、現在は「須山ばやし保存会」に統合して伝統を守り続けています。市内でも貴重な民俗芸能のひとつとなっています。

若者（青年）が祭礼の担い手

「静岡県史民俗調査報告書第十五集・須山の民俗」によりみると、「江戸時代から青年たちは“若者”と呼ばれ祭礼においては重要な役を果たしてきた。そのころの若者の名残りは裾野市域で唯一残った“屋台囃子”

にみられ、屋台囃子は須山ばやし保存会が伝統を継承している」と記載されています。また、「大正時代から昭和の初めにかけて、青年団は田向と^{うえむら}上村に分かれて活動しており、屋台も2つあった。男の子は高等2年（現中学2年）を出ると青年団に入った」とも記され、昔から若者が祭礼の担い手であったことや当時は男性のみで構成されていたことが明記されています。

須山ばやし保存会は、須山1・3区の上村支部と2・6区の田向支部に分かれ、輪番で須山浅間神社の春・秋の祭り行事など



令和6年11月に行われた富士山すその花火まつりで会場を盛り上げる、須山ばやし保存会の皆さん

で囃^{はや}しています。拝殿内で行われる春・秋の例大祭では、笙^{しょう}や龍笛^{りゅうてき}、箏^{ひちりき}などの楽器を用いて雅楽の代表的な「越天楽^{えてんらく}」の曲などを奏でます。春の例大祭では2人の女兒が奉納の舞(通称、巫女の舞)を見せる際にも曲を演奏します。また、地域の祭りや昔から裾野の花火大会の会場でも囃し、イベントを盛り上げています。

春の訪れ

キンド(小太鼓)、オード(大太鼓)、笛、鼓、鉦^{つづみ かね}の音色を響かせる浅間さんの祭り。春祭りの神輿^{みこしとぎよ}渡御の際に囃すのは「ハヤシ(囃子)」といい、秋祭りの屋台巡行の際に囃すのは「シャギリ(車切)」といい、曲調が異なります。また、上村と田向、それぞれの支部で囃す曲が異なるのも特徴です。ハヤシの曲が聞こえると春の訪れを告げるかのように段々と暖くなり、季節の変わり目を知らせる時期とも言われています。

次の世代へ

須山区長会は、文化継承の思いから平成15年に屋台を新造しました。保存会は秋祭りでシャギリを囃し(1ページ右上の写真)、地域に音色を響かせます。

今年3月まで保存会の会長を務め、復活当時から活動が続けている杉山俊一さんは、「昔は祭りの時に入会を呼び掛けたがね。長男が家を継ぐ時代ではなくなり、須山の人口も減っている。伝統を守るためには後継してくれる人がいないと…でも、須山6区の若い人たちが入会してくれている。仲間を増やしていきたい」と継承への思いを語ります。

小・中学校の授業で文化体験！

子どもたちに自分たちが住んでいる地域の文化を伝える機会を授業に取り入れている須山小・中学校では、保存会のメンバーが指導に当たり、小学3年生で小太鼓・大太鼓・鉦を、中

学1年生で篠笛^{しのぶえ}を体験します。3年生は、保存会のメンバーが奏でる笛と合わせて運動会で披露します。1年生は、5月から練習を始め、10月の峰友祭^{ほうゆうさい}(文化祭)で成果を披露します。囃子は元々、楽譜がなく口伝^{くでん}で継承されていますが、中学生の指導に当たっては保存会独自の工夫で、指使いを示した運指表を作ったり、指導の様子を撮影してタブレットを使って練習できるようにしたりするなど、時代に合わせて子どもたちに伝える取り組みをしています。また、須山の夏・秋祭りでは区内の小学生が太鼓などの鳴り物を囃すのが恒例となっています。

須山小・中学校の元保護者のひとりは「子どもたちに貴重な経験をさせてもらいありがたい。地域の方々が子どもたちに関わってくださり、子どもたち自身が感謝の言葉を伝えている。地域の人々の思いが子どもたちに伝わっていることを実感した」と感謝の言葉を述べました。



須山小の3年生に太鼓を指導する保存会のメンバー



篠笛を披露した須山中の1年生と保存会のメンバー

裾野市手話サークル 虹の会

耳の不自由な人が活動できる場を提供しようと、平成元年12月に発足。手話学習を通じて、一人ひとりが楽しく暮らせる地域社会を目指して活動中。平成18年11月に県知事表彰、平成30年11月には厚生労働大臣表彰を受賞。現在、小学生から80代まで、耳の不自由な人、手話通訳者を含む約30人が会員登録。



“アイ・ラブ・ユー”の手話で笑顔の虹の会の皆さん

聞こえる人も聞こえない人も、みんなが楽しく幸せに暮らせるように！

手話で会話を楽しむ時間

毎週木曜日の夜、裾野市福祉保健会館の一室から楽しそうな笑い声が聞こえてきます。耳が聞こえる人も聞こえない人も、年令も性別も問わず、みんな一緒に手話で和気あいあいと会話を楽しんでいます。ある日の定例会では、「サイコロトーク」を楽しんでいました。参加者の1人が大きなサイコロを振り、出た目の数が「1」の時は“好きな花は？”、「2」の時は“最近買った高い物は？”など、6つのテーマに沿って手話で会話を弾ませます。わからない手話はお互いに教え合い、切磋琢磨し

ながら手話を学んでいます。

また、聞こえないとはどういうことかを学んだり、耳が不自由な人から体験談を聞いたりするなど、分け隔てない豊かな暮らしを目指して活動しています。

気の合う仲間と学び合う

生まれつき難聴の荻野政信さんは入会するまで手話を使っていなかったといいますが、今ではみんなに手話を教える心強い存在です。「みんなと会って話すのが楽しい」と話します。高校生の黒田^{ほのか}和花さんは2年前に入会。学校で出会った耳の不自由な友達と手話で会話を楽しんでいるそうです。手話通訳者

の資格を持つ小池真弓さんと勝間田ゆかりさんは「聞こえるか、聞こえないかに関係なくみんなが暮らしやすい世の中にしたい」と活動への思いを話し、「手話の存在を知ってほしい」と理解を呼び掛けています。

手話は言語

平成18年12月、国連総会で採択された障害者の権利に関する条約で「手話は言語である」と国際的に認められました。裾野市議会は今年2月定例会本会議で「手話言語条例」を可決しました。手話を言語として位置づけ、手話の理解と普及に向けた取り組みが進められます。



ある日の定例会の様子

裾野市手話サークル 虹の会

活動日時：毎週木曜日、19時30分～21時

活動場所：裾野市福祉保健会館

活動内容：手話学習や交流会、情報交換、啓発活動など

見学大歓迎。問合せは、以下まで連絡をお願いします。

裾野市社会福祉協議会 055-992-5750

STUDIO O&K 裾野店

平成4年、裾野市内で初の音楽楽器練習所として開設。本格的なバンド練習だけでなく、レコーディングやイベントの企画、音響機材の貸出、楽器やホームシアターの販売・修理なども手掛ける。また、“すそのん”のオリジナルグッズ販売や映画のロケにスタジオを提供するなど、まちの活性化にも取り組んでいる。



音響の話を本当に楽しそうに教えてくれる勝又さん

楽器演奏を文化に

裾野市に本物の音楽スタジオを

「幼稚園児の時に聞いた洋楽がかっこよくてね」と代表の勝又清光さんは、自身の音楽との出会いを振り返ります。小学生になり、オーディオにも興味を持った勝又さん。スピーカーで遊ぶ中で、音の仕組みや機械技術が自然と身に着いたそうです。高校生になると、音質へのこだわりや防音を考えるようになりました。

その後、市内でバンドをしていた仲間とスタジオを作ることを決意。実家が建築資材を扱っていたこともあり、防音だけでなく、音の反射や吸収も考慮し

た5層の特殊な壁と映画館の音響セットを再現した本物のスタジオを開設しました。

こだわり抜いたスタジオを作り、楽器の音色などの聞き分けもできる音のプロの勝又さんは「実はね、チューニングは分かるけど、楽器は出来ないんだよ」といたずらっぽく笑います。

変わる利用法と変わらぬ価値

スタジオ開設時はバンド絶頂期。市内だけでなく県内各地から仲間と楽器演奏を楽しみたい人やスポンサーつきのプロが練習にきたといいます。やがて、デジタル技術が進展し楽曲作りに活かされ始めると勝又さんは

バンド演奏者の減少を予測しました。今ではパソコンで生演奏に近い音質の楽曲が作れ、自分で編集ができる時代になりました。スタジオのバンド利用者はピーク時より減る中で、演奏の楽しみ方はバンドで音を合わせる時代から楽曲を多様な方法で公開して評価を得る時代になり、個人の利用などスタジオの使われ方も変わったと話します。

勝又さんは「音楽が好きな人が気楽に楽しめる場所であればいい。思い切り大きな音で音圧を体で感じて、音楽を通した自己主張や爽快感を味わってほしい」と本物の音楽環境を提供し続けます。



裾野市の演奏文化を作り続けるスタジオ

STUDIO O&K 裾野店

場所：裾野市公文名64-3

営業時間：平日 14時～23時、土日祝日 10時～23時

定休日：火曜日 電話：055-993-8857

STUDIO O&K 主催 “JAZZ スペシャルライブ IN SUSONO”

令和7年7月12日(土) 開場：17時 開演：17時30分

チケットの問合せは、電話にて。

ぼくらの活動ノート



裾野が大好き！

2人は、市立南小、同西中、裾野高校までの12年間、ずっと一緒に道を進んできました。高校では卓球部の部活動も一緒、裾野が大好きという仲良しの2人です。市のマスコットキャラクター“すそのん”も大好きでファンクラブの会員です。裾野の良さについて「住みやすく、気が落ち着く環境で地域の人が気軽に声を掛けてくれる所」と口を揃えます。

2人とも高校1年生の時に学校で受講した講座が大きなきっかけとなり、「好きな裾野のために何かできることはないか」と考えるようになりました。講座は、キャリア教育の一環で裾野市役所の各課職員から仕事の内容や仕事のやりがいなどを聞くというものでした。水野さんは、情報発信課職員から情報の発信について学び、これまで感じていたことを発言したそうです。羽畑さんは、危機管理課職員から災害時の対応などの説明を受け、防災に興味を持ったといいます。

静岡県立裾野高校卒業生(令和7年3月卒業)

(右) 水野愛梨さん(18)

(左) 羽畑悠衣さん(18)

市内でボランティア活動

高校2年生の夏、2人は学校以外で開催された講座の「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を受講しました。その後、「裾野市災害ボランティアコーディネーターの会」に入会しました。養成講座で体験した「HUG体験」(避難所運営を学ぶ図上訓練)を多くの人に体験してほしいと、市民に向けた体験会の開催を同会に提案しました。回覧用のチラシづくりから当日の司会まで、2人主導で会を進め、成功に導きました。また、裾野市内のボランティア団体が一堂に会するイベントの同会ブースで、防災への啓発活動に一役買いました。そのほか、市内で行われた国際交流フェアでのボランティアやウクライナ支援コンサートへ参加するなどの活動を行ってきました。

学校では得られない体験や経験が広がったという2人。水野さんは「学校で積極的に行動できるようになり、コーディネーターの会に入ってから人と交流することが好きになった」と話します。羽畑さんは「人との交流の輪が広がり、活動することで経験が一気に増えた」と語ります。2人は4月から社会人。それぞれの道でボランティア活動を続ける意欲をみせています。

「裾野市災害ボランティアコーディネーターの会」では会員を随時募集。

問合せは、080-3765-4801(土屋さん)

Local bee の巣

裾野市市民活動センターへようこそ



市民活動センターは、区や市民活動団体の運営・活動の企画、企業の CSR 活動のほか、ボランティアや補助金・助成金の情報など、幅広い相談に対応します。皆さんがちょっと踏み出す気持ちに寄り添い、活動を支えます。

市民活動センターのつばやき

きれいなまちづくり

活動団体や有志による公共空間の清掃活動、いわゆる「アダプトプログラム」という考え方は、

1985年にアメリカで生まれました。日本には1998年に導入されたといわれています。もちろん、アダプトプログラムという名前が生まれる前から清掃活動は行われていました。日本の歴史をたどれば、生活環境の衛生活動という意味では江戸時代まで遡るようです。そして現在、日本国内におけるアダプトプログラムの参加者は240万人を超えており、全国的に年々増加傾向とのこと。この取り組みのキーワードは「地元への愛着」「育み」であります。もともと、「アダプト」という言葉は、「養子にする」という意味があります。道路や河川、公園

などの公共の場所を一定区画ごと「養子」に見立て、市民や企業が「里親」となり、清掃や美化によって地域を「育む」という取り組みとなるわけです。このような精神を、地域に広げたものがアダプトプログラムということになります。

裾野市内でも美化活動をしている団体は増加しています。活動の参加者からは、「作業後に飲み物を飲みながら仲間との会話に花を咲かせることが楽しみ」という声もあり、美化活動のみならず、コミュニケーションの場としても好評のようです。

市では、活動に対し補助金メニューも用意しており、相談も随時受け付けています。まずは、環境美化や地域づくりなど堅苦しく考えず、「近所の人はどんな人たちなのか」「自分が住んでいる地域を知るためのきっかけづくり」として気軽に参加してみたいかがでしょうか。

施設案内

～自治活動・市民活動・企業のCSR など～

ところ 裾野市深良 435 (生涯学習センター1階)

電話 055-992-6100

職員対応日 火曜日～金曜日 9時～17時

(祝日・年末年始等を除く) (不在の場合あり)

施設利用 8時30分～21時30分

(生涯学習センター休館日を除く)

詳しくは、市公式ウェブサイトを

ご確認ください



ウェブサイト市民
活動センター
市公式

\ Lo-bee 読者プレゼント /

PRESENT

ロビーをお読みいただきありがとうございます。
読者の中から、抽選で素敵なプレゼントが当たります。右下の応募フォームからご応募ください。
当選者には、市民活動センターからご連絡します。



STUDIO O & K
オリジナルすそのんステッカー
(2枚) 引換券
5名様

応募フォーム



数字でみる私の地域 ～進めよう！役・事業・取り組みの見直し～

地区	番号	区名	人数 (人)	世帯数	65歳以上 割合 (%)	14歳以下 割合 (%)
西	1	石脇	1777	754	23.9	13.6
	2	佐野上宿	1118	513	19.1	15.3
	3	佐野本宿	609	273	26.3	13.5
	4	佐野若狭	725	335	28.1	9.9
	5	佐野二	1600	686	25.8	14.9
	6	大畑	105	47	35.2	12.4
	7	上町	829	366	21.0	16.8
	8	緑町	232	111	44.0	7.8
	9	元町	654	283	26.8	15.3
	10	桃園	848	420	37.7	8.0
	11	富沢	1799	832	16.3	17.2
	12	南町	337	149	34.7	13.6
	13	二ツ屋一	631	310	19.8	13.3
	14	二ツ屋二	399	191	26.3	7.3
	15	堰原	1210	521	18.3	15.0
	16	伊豆島田	1513	681	22.6	13.2
	17	水窪	931	415	25.5	13.0
東	18	久根	912	391	35.9	9.9
	19	公文名一	613	285	32.5	8.0
	20	公文名二	596	266	23.2	10.7
	21	公文名三	546	261	25.1	9.9
	22	公文名四	378	152	32.5	9.5
	23	公文名五	329	143	45.0	6.7
	24	中丸上	572	272	21.5	15.2
	25	中丸中	383	171	23.5	13.1
	26	中丸下	707	343	25.3	11.7
	27	天理町	241	101	29.5	10.0
	28	滝頭	747	345	30.7	12.4
	29	本茶	798	378	25.6	13.4
	30	道上	206	93	41.7	8.3
	31	峰下市の瀬	379	178	47.0	5.8
	32	鈴原	259	124	49.4	6.2
	33	茶畑団地	526	331	46.0	8.6
	34	青葉台	1029	444	44.7	8.4
	35	和泉	859	426	27.9	9.2
	36	富士見台	777	337	30.0	11.3
	37	麦塚	610	277	31.6	10.3
	38	新道	387	190	31.5	11.4
	39	東町	142	84	26.8	7.7
	40	本通り	30	12	46.7	13.3
	41	日の出元町	99	55	40.4	4.0
	42	本村上中	378	170	23.5	16.1
	43	本村下	919	417	22.9	12.8

地区	番号	区名	人数 (人)	世帯数	65歳以上 割合 (%)	14歳以下 割合 (%)
深良	44	町震一	591	248	35.5	10.8
	45	町震二	231	100	31.2	12.6
	46	舞台団地	38	30	71.1	0.0
	47	南堀	585	253	38.3	8.5
	48	和市	201	79	35.3	12.9
	49	遠道原	396	159	34.3	11.4
	50	切久保	186	77	41.4	9.1
	51	上原	390	163	30.8	12.8
	52	上原団地	32	23	59.4	0.0
	53	原	339	142	43.7	5.9
	54	上須	239	107	43.5	8.4
	55	深良新田	451	195	34.8	9.1
	56	岩波	1273	601	30.3	10.5
富岡	57	千福	689	288	29.2	13.8
	58	御宿平山	170	82	27.1	15.3
	59	御宿上谷	486	196	31.9	11.9
	60	御宿新田	1617	697	24.9	15.8
	61	御宿坂上	595	243	35.0	11.6
	62	御宿入谷	617	275	26.7	11.7
	63	上城	223	73	33.6	15.2
	64	中村	181	78	33.7	11.0
	65	下条	166	70	39.2	8.4
	66	中里	383	162	37.9	11.5
	67	田場沢	211	79	35.1	9.0
	68	森脇団地	100	72	18.0	4.0
	69	上ケ田	471	180	31.0	13.0
	70	金沢	872	396	25.7	9.3
	71	今里	558	248	40.5	6.6
	72	今里上	178	61	3.9	34.8
	73	下和田	703	300	31.0	9.2
	74	呼子	872	336	19.5	8.8
	75	矢崎	297	156	0.3	27.6
	76	トヨタ	226	212	0.0	2.7
須山	77	御宿台	234	134	0.0	17.9
	78	千福が丘	2392	1059	40.3	8.4
	79	千福南	138	70	23.2	5.1
	80	須山一	340	141	42.1	10.6
	81	須山二	328	128	41.5	9.8
	82	須山三	387	144	39.8	12.1
	83	須山四	54	22	40.7	11.1
	84	須山六	434	172	20.3	11.1
市内合計			48375	21827	29.2	11.7

2025年4月1日（住民基本台帳より）



発行（年4回）裾野市市民活動センター

〒410-1102 裾野市深良435 裾野市生涯学習センター1階

☎055-992-6100 ✉scenter@city.susono.shizuoka.jp